



一年の計

国内では寒さが厳しく、大雪となった地域もある中でしたが、晴れやかに新年をお迎えのことと存じます。本年もよろしくお祈りいたします。

今年はトラ年です。中国では百獣の王と言えは「虎」であり、古くから武勇や王者の象徴として扱われてきました。中でも白い虎は「白虎」と呼ばれ、神様のような存在として人々から敬意を払われてきました。

干支の「とら」は「寅」の字を充てていますが、この字には、「まっすぐに伸びて引っ張る」という意味があります。家の中で矢を両手でまっすぐに伸ばす様子を表しています。家を表すうかんむりに、矢をひきとめるという「𠂔」を足して「寅」という字ができました。

この「寅」は、「引(のばしひく)」「伸(のばす)」と同系の語で、草木が伸び始める状態を表すと解釈されています。また、「寅」の字は、「演」から来ているとも言われています。「演じる=人の前に立つ」という意味や「演」という字の語源の「延」から「延ばす」の意味を表すとも言われます。「演技」とは、「技を延ばす(人前で見せる)ところからできたとも言われています。このような「人前に立つ」ことや「延ばす」という意味から、「寅年」芽を出したものが「成長していく(見えてくる)」年やこれから成長する物事の「象徴が生まれる(始まる)」年と言われます。このように、「新しく立ち上がること」や「成長すること」といった縁起のよさを表しています。

今年を成長の年とするためには、まずは、種を蒔き、芽を出させることが始まりです。

2学期末の学校便りで、短い期間でも(短期間だから)できることにチャレンジして欲しいと書きましたが、これもある意味、種蒔きだと思っていました。

3学期は授業日数が少ない学期ですが、新年度への準備のための大切な期間です。それぞれ進学や進級した先で、何をしたいのか、何をしなければならないのか、自分と向き合って準備をする。この3ヶ月の間は、成長のための種を蒔き、芽を出させる期間です。

学習や部活動も大切ですが、これからの社会では、専門知識の土台となる「各分野における基礎的な知識」、「グローバルな感覚」や「マネジメント力」に加え、学んだ知識を活用していくための能力として、「課題発見・解決力」、「コミュニケーション能力」等、いわゆる社会人基礎力が求められています。こうした能力は、大学も含め学校教育だけで醸成されるものではありませんが、その基盤となる資質や能力は、意識的に、学校や家庭、地域での生活の中で育まれるものです。

社会に出てからも伸びてゆくためにも、思いやりや公共心、規範意識、意欲、忍耐力などに目を向けて、人として成長できるよう、課題を持って取り組むよう、「一年の計」をたてて欲しいと願っています

3年生は新天地で飛躍できるよう、1・2年生は、先輩として、また、最上級生として学校を担っていけるよう、私たち教職員も取り組んでいきますので、ご家庭や地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



1月・2月の予定

日	曜	行事等
11	火	3学期始業式
12	水	
13	木	給食開始
19	水	中央小学校連絡会
20	木	生徒会委員会の日
23・24		県内私立高校入試集中日
27	木	中央小学校児童体験入学
31	月	令和4年度新入生保護者説明会



日	曜	行事等
2	水	
10	木	生徒会委員会の日 県公立高校入試出願期間(～15)
17・18		県公立高校入試志願先変更期間
21・22		期末試験
24	木	県公立高校入試学力検査
25	金	県公立高校入試実技検査・面接



1月31日(月)午後2時より来年度入学生徒の保護者対象説明会を予定しています。来年度富士見中学校に入学予定の児童のいらっしゃるご家庭の保護者の方は出席をお願いします。

1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日から1月21日までを「防災とボランティア週間」としています。これは、1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」に因んで制定されたものです。この震災では、学生を中心とするボランティア活動が活発化し、「日本のボランティア元年」とも言われました。これをきっかけに、ボランティア活動への認識を深め、災害への備えを充実強化する目的で制定されたものです。その後、各地で発生した災害では、多くのボランティアが集まり活動していることは周知のとおりです。

生徒も「ボランティア活動」への関心があり、機会があれば参加したいと考えている生徒も少なくありません。これからの防災教育では、自分の安全を守ることとともに、こうした「共助」の考え方も大切にしていきたいと考えます。

ボランティア活動とは、Volunteer の語源をたどると「自分のしたいという意志が大切で、喜んでする活動」と言うことです。活動の種類も、災害復旧や環境、福祉、学習支援など様々な選択肢があります。大きく構えずに、お小遣いから募金をしたり、親子で地域の清掃活動に参加したりするなど、身近なことから取り組んでいくことが、ボランティア活動の入り口になると考えます。

また、防災の視点からは、親子で一緒に避難場所まで歩いて行ってみたり、非常時に使える電池や食料を確認したり、更新したりすることが考えられます。災害が発生したら、3日間は自分たちの蓄えて乗り越えられる準備が大切とも言われています。特別な非常食を準備するのではなく、普段使いできる食料品や飲料で保存のできるものを考えてみてはいかがでしょうか。

コロナウイルス感染症対策のお願い

2学期は、校内で集団感染を起こすことなく、教育活動を終えることができました。ご家庭の協力に感謝いたします。

最近のニュースでは、変異種(オミクロン株)への置き換わり進み、急速に感染が広がっていると報じられており、今後の学校での活動への影響も心配をしているところです。

基本的な対策を継続することが大切です。改めて、ご協力をお願いします。

- ・家庭でも健康観察を継続的に実施し、「**健康観察表**」に記入し、学校に提出する
【体温を測ってこない生徒が固定化・常態化してきています】
- ・ご家庭においても、手洗い・うがい等の感染予防対策を行う
- ・発熱(微熱の場合も)がある場合には、医師の診断を受ける
- ・体調が悪い場合は、無理して登校しない

